

# 東由利町報

No. 253 昭和52年4月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



## 営農メモ

### ◎水稲育苗用床土の準備

育苗に適した床土は壤土か埴壤土で、特にPHは苗の生育と立ち枯れ病の関係から4.5～5.5のものを使用します。PHの検定は必ず行うことが大切です。

床土には立ち枯れ病を防ぐため「タチガレイン粉剤」一箱あたり6㍑を混ぜます。一箱当りの施肥量は、稚苗、中苗とも箱育苗肥料（5～5.5㍑で30㍑～40㍑とします）。

### ◎10㍑当りの箱数

稚苗200㍑（乾粃）まき120～25箱、中苗120㍑（乾粃）まき30～33箱、山間高冷地100㍑まき35～39箱とします。なお中苗の箱下施肥は畑、折衷育苗とも慣行施肥の半分とします。

### ◎葉たばこ育苗管理の留意点

- 1、子床の設備は仮植一週間前に完了する。
  - 2、間引きは遅れないようにする。
  - 3、仮植の遅れは不作のもとになるから、適期にする（4～5枚程度）。
  - 4、苗床管理の注意
- (イ) 灌水は、発芽前後は十分に行い、発芽後は過湿にならないように注意する。
- (ロ) 苗床初期は夜間の保温を十分にする。
- （東由利町農業総合指導センター）

No 253

4/1



# こう設計された

## 全案件を原案可決し終了

三月十日から開かれていた町議会第一回定例会は、追加案件三件を含めた二十三案件を審議し、全案件を原案どおりに可決し十九日に閉会しました。

町長の施政方針については、前号で掲載しましたので、今号では昭和五十二年度予算の解説とその他の可決された案件、一般質問の概要および昭和五十二年度予算に対する総務委員長報告（全文）を掲載しました。

### 歳入

地方交付税 471,317千円  
自主財源は 19.4%

歳入を行政予算科目ごとに分けると、右のグラフのようになります。さらにこれを詳細に区分しますと、

◇町税 82,787千円

その主なものは、

- 町民税 20,213千円
- 固定資産税 47,442千円
- 軽自動車税 3,582千円
- たばこ消費税 8,176千円
- 電気税 2,825千円

などであり、歳入予算全体の6.4%を占め、前年度比では15.9%増になっています。

◇地方譲与税 10,000千円

◇自動車取得税交付金 10,000千円

◇地方交付税 471,317千円

これは、地方公共団体が自主的標準的な行政運営ができるように、国から交付されているもので、歳入予算全体の36.6%を占めています。前年度比では4.7%増です。

◇分担金及び負担金 36,801千円

- 保育児童保護者負担金 7,000千円
- 団体営ほ場整備事業費負担金 7,187千円
- 土地基盤整備事業費負担金 12,628千円
- 農村基盤総合整備事業費負担金 8,416千円

など、事業に対する受益者負担が主なものです。

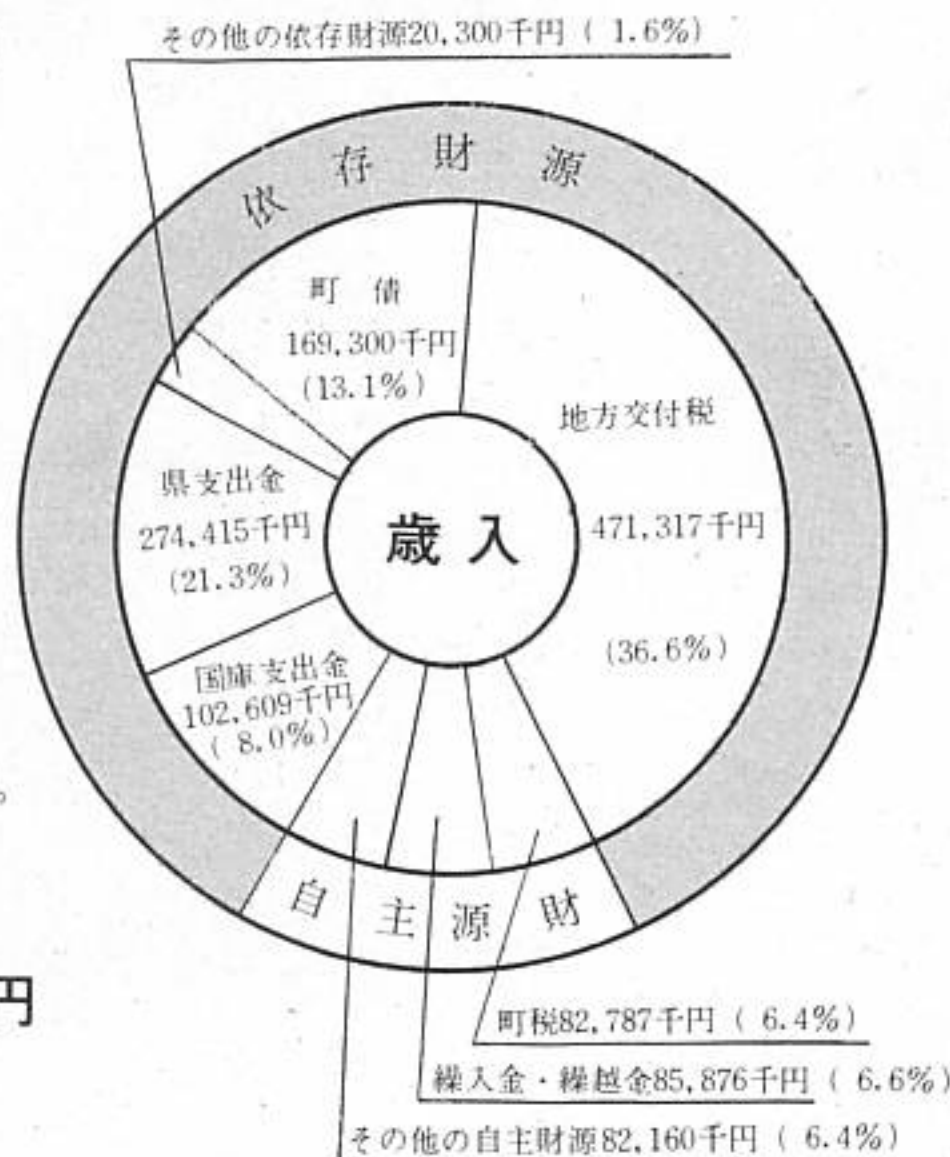
◇国庫支出金 102,609千円

これは、補助事業の完了または実績の結果に交付されるものが主で、

- 老人医療費負担金 12,461千円
- 児童福祉費負担金 26,005千円
- 河川災害復旧費負担金 12,265千円
- 道路橋梁費補助金 11,400千円
- 除雪機械整備費補助金 10,000千円
- 学校プール施設整備費補助金 7,468千円

などがあり、歳入予算全体の8.0%を占めています。

◇県支出金 274,415千円



- 農業構造改善事業費補助金 63,115千円
- 農村基盤総合整備事業費補助金 19,105千円
- 山村開発センター建築事業費補助金 63,840千円
- 杉森林道開設事業費補助金 7,650千円
- 県単小規模土地改良事業費補助金 7,683千円
- 団体営ほ場整備事業費補助金 8,380千円

などが主なもので、歳入予算の21.3%を占め、前年度比では51.5%増になっています。

◇繰入金 70,876千円

- 財政調整基金繰入金 70,000千円
- 簡易水道特別会計繰入金 876千円

◇繰越金 15,000千円

◇諸収入 31,383千円

- 循環器検診、胃検診、婦人科検診の受診者徴収金 2,730千円
- 家畜導入資金償還金徴収金 21,638千円
- 住宅資金貸付金収入 2,642千円

◇町債 169,300千円

### 予算解説

### 一般会計

昭和五十二年度の町予算が決まりました。

それによりまず、一般会計の当初予算規模は十二億八千八百七十六万四千円、前年度当初予算に比べて一億七千五百九十八万三千円、十五・八%の増となっています。

また、由利郡各町村の予算と比較してみると、住民一人当たり

の当初予算額は由利郡町村の平均が十四万八千三百二十五円であるのに対して、本町の場合は十九万五千五百五十二円とずば抜けて高くなっています。

これは、きびしい財政状況下にあっても、産業基盤や生活環境等の整備に、国・県の補助事業を積極的に取り入れた意欲的な予算編成であったからです。

町がいろいろな事業をするために借りるお金のことで、主なものとしては、

- 山村開発センター建築事業債 63,200千円
- 道路橋梁債 55,100千円
- 学校プール建設事業債 17,600千円
- 造林事業債 10,800千円

があり、歳入予算全体の13.1%を占めています。

歳入においては、このほかに交通安全対策特別交付金（300千円）、使用料及び手数料（5,517千円）、財産収入（8,447千円）寄付金（12千円）があります。

また、歳入全体を自主財源、依存財源別に区分してみると、自主財源（町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入）の総額は、250,823千円であり、全体の19.4%を占めており、残り80.6%は依存財源でまかなわれています。

### 表紙の写真

東田利中学校の卒業式は、去る三月十五日に行われ、男63名、女62名がそれぞれ卒業証書を手に入れました。

三年間の思い出は、彼らのこれから的人生においてある時はムチ打ち、またある時は慰め、励まし、彼らを大きく、強く成長させてくれることでしょう。





## 建設事業費が全体の4割 人件費の割合は17.8%

# 12億円は

### 3月 議会

歳出の行政予算科目ごとの主な予算内容は次のとおりです。

#### ◇議会費 25,602千円

議会議員の報酬や事務局職員の給料や手当て、旅費およびその他議会活動に必要な諸経費です。

#### ◇総務費 144,227千円

これは、役場全体の管理的共通事務費のほか、主なものは、

- 町報発行費 2,462千円
- 財政調整基金管理積立金 7,517千円
- 部落会関係費 2,972千円
- 交通安全対策費 1,620千円  
(このうち、生活安全道路設置1カ所分300千円が計上されています。)
- 農業委員選挙費と参議院議員選挙費あわせて 2,712千円
- 各種統計調査費 709千円
- 町の長期振興計画策定費 594千円  
などです。

総務費は予算全体の11.2%を占めており、また前年度比では6,136千円—4.4%の増になっています。

#### ◇民生費 106,648千円

予算全体の8.4%を占めており、その主な事業の内訳は、

##### ○老人福祉費 7,374千円

- 老人クラブ活動費補助金 740千円
- ひとり暮らし老人のヘルパー対策 2,052千円
- 寝たきり老人への特殊寝台貸与 138千円
- 広域事業である老人ホームへの負担金 862千円
- 老人居室整備資金貸付事業(3戸分) 1,500千円  
などです。

##### ○医療給付費 29,001千円

老人医療、乳幼児医療、重度心身障害者医療などです。

##### ○児童福祉費 43,284千円

このうちには、両保育所について国、県、町費および保護者の保育料合せて、31,411千円が児童措置費補助金として計上されています。

※ なお、生活保護世帯や低所得世帯などで電話をつけたい場合の電話架設費補助金(13世帯分—520千円)が新しく設けられました。

#### ◇衛生費 42,468千円

- 乳児、幼児、妊婦の健康診査や伝染病予防、結核予防、各種予防接種、寄生虫予防対策費など 12,568千円  
(このうち皆検診事業として、循環器検診、胃検診、婦人科検診等の委託料4,175千円があります。)

- 火葬場運営費など環境衛生費 3,400千円

- 黒瀬診療所改築費 6,981千円  
このほか、ごみ処理費が9,769千円し尿処理費が3,822千円、合せて清掃費13,591千円が主なものです。

#### ◇労働費 4,034千円

出かせぎ対策費がほとんどで、健康診断委託料(600千円)、県出かせぎ互助会拠出金(680千円)、現地連絡、訪問、留守家族対策等です。

#### ◇農林水産業費 443,300千円

予算全体の34.4%を占め、前年度比で87.8%の伸びとなっています。

農業振興対策の主なものは、

- 集落農場化活動費補助金 560千円
- 農業近代化ゼミナール活動費では、新しく先進地宿泊実習補助金、研究ほ場設置費など 340千円
- 葉たばこ乾燥施設費補助 450千円  
(増反分 ハウス30棟)
- 葉たばこ共同利用機具購入費補助 348千円(葉たばこ管理機3台)
- 葉たばこ中型共同防除機械購入費補助 340千円(防除機6台)
- 産業道路(牧道)整備費補助 3,100千円
- 小規模土地改良事業費補助 10,244千円  
(4ほ場 8.4ha分)

畜産振興では、

- 放牧場運営費 4,381千円
- 本年度新しく県外先進地の優良素牛導入(25頭)対策費として 575千円
- 優良繁殖牛、乳用育成牛保留対策費 327千円
- 緊急粗飼料増産対策事業 5,256千円  
その他家畜防疫費、由利家畜診療所運営費補助金、県畜産開発公社出資金が主なものです。

土地改良事業では

- 4年目を迎えた県営ほ場整備関係費 5,108千円
- 稲子沢町営ほ場整備費 15,567千円

農道整備では

前年度継続の県代行事業石高農道関係費(1,279千円)のほか、本年度新規に県営事業として「農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業(略 農免農道整備事業)」で、根小屋線を整備するため、事業費の町負担分等(4,786千円)を計上しています。

##### 第二次農構 79,643千円

- 南部地区(須郷田以南)計画策定費 3,900千円
- 小田地区ほ場整備(10.7ha) 41,533千円
- 北部、中部地区(蔵・老方・館合地区)営農5集団の稲作協業施設(トラクター、農機具格納庫)整備費補助金

34,210千円

山村開発センター建築は、

175,080千円の予算で9月完成が予定されています。

農村基盤総合整備事業(略 ミニ総バ)は

総事業費328,000千円、4か年の事業年度で、大琴地区の生活環境、生産基盤を整備しようとするものであるが、本年度では上の台地区ほ場整備(8ha)に、27,521千円を予算化し、施行するものです。

林業費は54,314千円で、

主な事業として

- 杉森林道開設費 16,680千円
- 町有造林費 13,528千円  
が大半を占めているが、
- 特用林産物振興として稚茸種菌、クリ生産施設整備費について生産組合への補助金1,236千円
- 5か年事業で、3年度目になる特用樹林造成国庫補助事業(桐栽培)は、栽培組合に事業費補助金3,612千円
- 町の一般単独事業による桐苗木補助金 105千円

また、民有林の振興を促し優良林業地帯を形成するための中核林業地域指定(東田利町、由利町、矢島町)による計画策定費952千円が新しく予算化されています。

#### ◇商工費 1,244千円

商工振興のための補助金、中小企業振興資金貸付保証料及び利子補給金、信用保証協会出捐金が主なものです。

#### ◇土木費 148,065千円

歳出予算総額の11.5%を占め、道路・橋梁維持補修費14,346千円、道路・橋梁新設改良費91,448千円があり、

- うち道路 改良費 53,023千円
- 舗装費 18,691千円
- 改良及び舗装費 9,424千円
- その他 4,430千円
- 橋梁改良費 5,880千円

- 冬期交通対策費 25,274千円  
(うち、除雪機械ドーザ購入費として15,000千円が含まれています。)

#### ◇消防費 65,659千円

- 常備消防、救急業務にかかわる本荘地区広域消防の負担金 41,708千円

(4ページへつづく)



## 今年度はこういう事業を — 主な事業計画 —

(単位千円)

| 事業名             | 事業費     |
|-----------------|---------|
| 1、補助事業          | 286,363 |
| 団体営ほ場整備事業       | 15,567  |
| 山村開発センター建築事業    | 175,080 |
| 杉森林道開設事業        | 16,680  |
| 蔵上里線改良事業        | 17,134  |
| 防火水槽施設整備事業      | 3,400   |
| 学校プール建設事業       | 31,021  |
| 黒淵診療所建築事業       | 6,981   |
| 消防自動車ポンプ購入事業    | 5,500   |
| 除雪機械整備事業        | 15,000  |
| 2、単独事業          | 232,017 |
| 新沢線改良事業         | 6,359   |
| 新沢線舗装事業         | 5,419   |
| 台山線舗装事業         | 8,349   |
| 館前線改良舗装事業       | 5,133   |
| 上野線改良舗装事業       | 4,291   |
| 島宮線舗装事業         | 4,923   |
| 新田線改良事業         | 12,180  |
| 十二の前線改良事業       | 10,350  |
| 西山線改良事業         | 7,000   |
| その他道路橋梁改良事業     | 10,310  |
| 造林事業            | 13,528  |
| 児童遊園地設置事業       | 434     |
| 産業道路整備事業        | 3,100   |
| 県単小規模土地改良事業     | 10,244  |
| 朴の木沢放牧場監視舎建築事業  | 800     |
| 緊急粗飼料増産総合対策事業   | 5,255   |
| 県営土地改良事業関連費     | 5,108   |
| 石高農道関連事業        | 1,279   |
| 第二次農業構造改善事業     | 79,643  |
| 農村基盤総合整備事業      | 27,521  |
| 農免道路整備事業        | 4,786   |
| 特用林産物振興対策事業     | 1,441   |
| 特用林産物生産流通改善対策事業 | 3,612   |
| 中核林業振興地域対策事業    | 952     |
| 合 計             | 518,380 |

(3ページから)

- 町の非常勤消防団員の報酬や費用弁償  
これに伴う需用費等 11,069千円
- 消防施設整備費として自動車ポンプの  
購入費 5,500千円
- 防火水槽新設(2基) 3,400千円
- 水槽補修及び防護資材等 1,185千円  
などが主なものです。

### ◇教育費 147,125千円

歳出予算総額の11.4%を占め、主な経費としては、

小学校関係では、

- 管理費 44,946千円
- 教材備品、教育活動用経費 7,752千円
- 小学校プール建設費(宿小学校) 31,021千円

中学校関係では、

- 管理費 15,284千円
- 教材備品、教育活動用経費 6,729千円
- 寄宿舎の経費 6,300千円

が主なものです。

社会教育関係で主なものは、

- 乳幼児学級、家庭学級、働く婦人の  
セミナー、生涯教育講座の開設  
成人式費など 2,485千円
- 社会教育団体、文化団体等の補助  
金、負担金 519千円
- 公民館の管理運営、活動費等 7,360千円

保健体育費では、

- 町民運動会、球技大会、体育協会  
スポーツ少年団育成費等で 1,902千円
  - 地区運動広場整備費補助金(2カ所  
分) 200千円
- が主なものです。

### ◇災害復旧費 86,665千円

林道施設、農業用施設、道路橋梁及び河

川の災害復旧費に係る係費です。

### ◇公債費 67,650千円

町が融資を受けて事業を行ったり、施設を造ったりしたものの元金と利子の償還金で、元金26,511千円、利子41,139千円です。

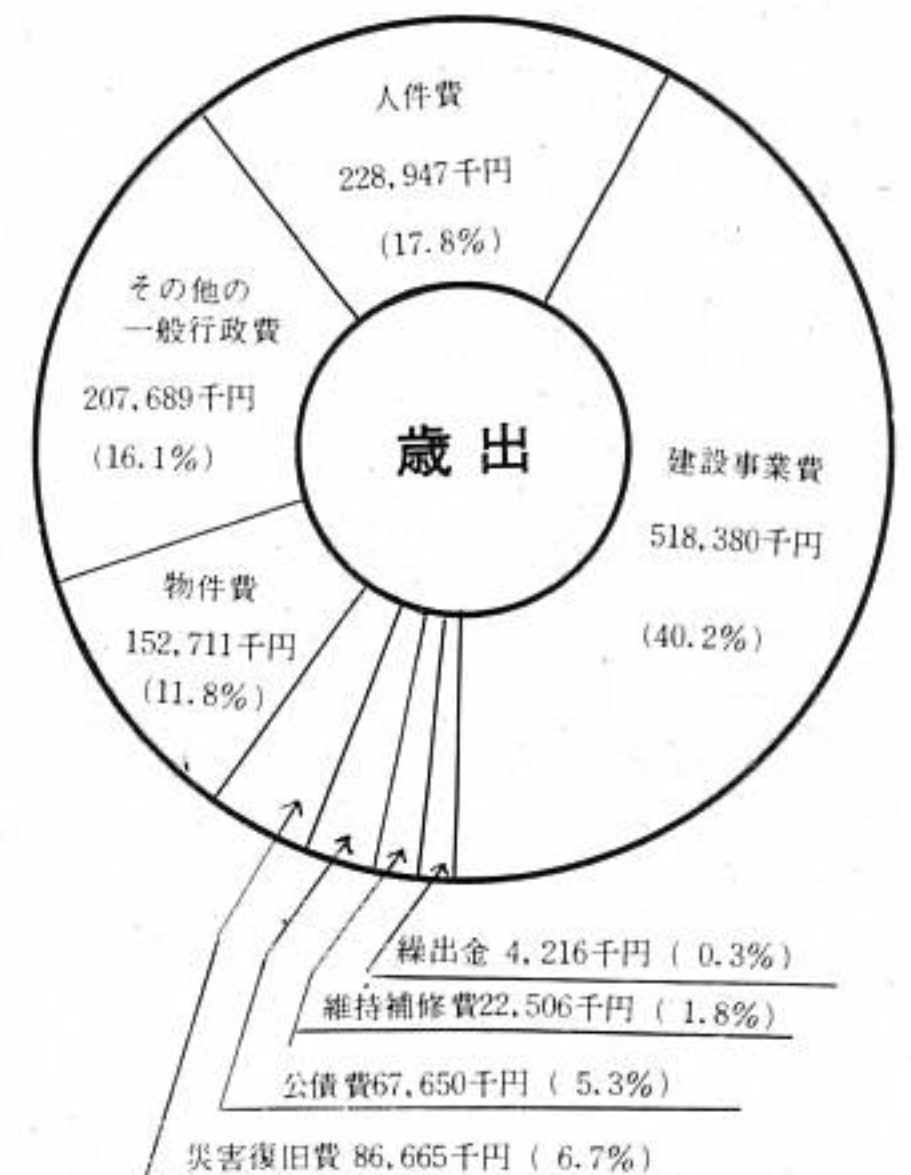
### ◇諸支出金 2,077千円

秋田県土地開発公社への償還金が主なものです。

### ◇予備費 4,000千円

前年度比 500千円—14.3%増になっています。

以上が歳出の主なものですが、下のグラフの性質別歳出内訳を見てみると、建設事業費が518,380千円で全体の40.2%を占めて最も大きく、次いで人件費17.8%その他の一般行政費16.1%、物件費11.8%の順になっていることがわかります。



## 国保特別会計 予算額 336,513千円

保険給付費が歳出の91.3%

昭和52年度東由利町国民健康保険事業勘定特別会計予算は、歳入歳出それぞれ336,513千円であり、前年度に比較して79,390千円—30.9%の増になっています。

歳入、歳出別にその内容を見てみると、

### ▷ 歳入

- 国庫支出金 195,700千円  
保険給付に対する国庫負担金、補助金が主なもので、歳入予算全体の58.2%を占めています。前年度比では31.9%増になっています。
- 国民健康保険税 128,627千円  
歳出予算全体の38.2%を占め、前年度に比較して53.1%増になっていますが、前年度は6月に7,348千円を補正していますので、実質的には37,285千円—40.8%の増になります。

これに対し、県支出金、繰入金、繰越金は、いずれも前年度を大きく下回っており、苦しい国保の財政状況をうかがうことができます。

### ▷ 歳出

保険給付費の308,399千円が歳出全体の91.3%を占め、前年度に比較して31.3%増になっているのが特に目立っており、結果的に、この保険給付費の増嵩が保険税のアップにつながっています。

## 黒淵診療所 特別会計 予算額 1,833千円

### ▷ 歳入

国庫補助金 885千円、一般会計繰入金500千円、診療施設使用料 443千円が主なもの。

### ▷ 歳出

医師や看護婦の報酬及び賃金 1,086千円、医薬品等医薬費 410千円などが主なもの。

## 簡易水道 特別会計 予算額 20,855千円

## 予算解説 = 特別会計

### ▷ 歳入

水道料金15,033千円、一般会計繰入金1,000千円、繰越金 4,345千円が主なもの。

### ▷ 歳出

職員の給料や手当及びその他の消耗品費等一般管理費 2,970千円、東由利水道維持管理費 4,293千円、館合水道維持管理費 1,381千円、大琴水道維持管理費 540千円、財政調整基金積立金 4,650千円、公債費 6,232千円が主なもの。

## 玉米財産区 特別会計 予算額 735千円

### ▷ 歳入

生産物売払収入が主なもの。

### ▷ 歳出

財産区管理費 680千円が主なもの。



# 一般 九議員が当局の考えをただす

第一回定例議会における一般質問とそれに対する回答を係の感覚において、その概要をまとめてみました。

〔質問〕老方西山台地の開発計画についてであるが、台地の大部分は私有地であり、土地取得対策はどうすすめるのか。また計画の具体化のために調査費を計上しないか。

〔答〕開発計画は具体的には持っていない。現在のところ調査費の計上は考えていない。

〔質問〕除雪費の国の補助と特別交付税の本町への配分額は。

〔答〕除雪費の助成は、町村の幹線道路の平年度除雪費を越える部分の二分の一助成をするという情報を県町村会から得ている。特別交付税は増額を期待して積極的に資料提供している。

〔質問〕老方地区への流雪溝の設置について調査し、可能な場合は実施できないか。

〔答〕館合、老方、蔵、大琴の四地区について由利土木事務所条件調査をしている。

〔質問〕市販学習テキストの購入について教育委員会の所見は。

〔答〕実態を承知していないので、調査の上回答したい。

〔質問〕県出かせぎ互助会から出かせぎ者への新聞は落が多いので、従前のように町で送った方がよい。これを県に働きかけないか。

〔答〕第三種郵便である上に列車の遅れなどから、届くのが遅れる場合がある。発送もれの

得と固定資産税の関係はどうなっているのか。

〔答〕現状では、税法上に減免規程はない。

〔質問〕農業後継者の嫁不足に具体的な対策をもつべきではないか。

〔答〕嫁不足に対処する名案はなかなかないので、いっしょに考え、知恵を授けてほしい。

〔質問〕五十二年県予算で大森町保呂羽山地区への少年自然の家の建設が予算化されたが、予定地は本町の六沢堤付近と聞く。これをどうとらえているか。

〔答〕建設地の大小屋は大森町の行政区域であるが、本町でも十分活用できると思う。

〔質問〕農業総合指導センターの指導陣容を明確にし、指導の徹底を図りたい。

〔答〕同センターは、農業関係機関（町・農協・共済・普及所）の指導の一元化をねらいとし、指導員会議と四部会（農作物・畜産・生活改善・後継者育成対策の各部会）を持ち、それぞれの担当職員間で指導の一体化を図っている。

〔質問〕農業後継者の育成については技術研修も必要だが、婚姻についての配慮も欲しい。

〔答〕農近ゼミに交流や研修の機会を提供している中で、そうした中から実りあるところまですすめたい。

〔質問〕夏季の地元就労時から雇用保険に加入し、これを出かせぎ期間に連算して受給要件に満たるよう行政指導してもらいたい。

〔答〕上部機関とも連絡をとりながら、適正な指導をしてゆく。

〔質問〕五人以上の従業員がいながら、雇用保険制度を適用していない町内の事業所に行政指導を。

〔答〕指導は職安の管掌下に属するが、協議し指導してゆきたい。

〔質問〕玉米財産区の推定評価と使途について。

〔答〕同財産区の総財産は約三万五千立方（十二万五七五五石）と推定している。また、財産区とは内容的に部落財産の集合体なので、その地域のニーズによって使途を判断することになる。

〔質問〕行政と農協の一体化推進について産経課長に伺いたい。

〔答〕具体的な施策の推進にあたり、(イ)具体的施策の推進に当たり、(ロ)今までの連携のあり方で農家の期待に応えられると思うか、(ハ)五十二年の農業施策の具体化をどのような連携の中で推進していくかというところか。

〔答〕(イ)事業推進にあたっては、町でできるもの、農協でできるものについて常に担当係同志、課長同志で連携をとってすすめてきた。(ロ)これまでの連携に対し苦情はなかった中で、このまま良いと考える。(ハ)指導センターを中心に横の連絡を密にし、農家の期待に応えられる

ような指導、事業推進をはかりたい。

〔質問〕五十二年の職員人事はどのような構想の中でなされるのか。また、その規模は。

〔答〕人事の基本は、適材適所であり、個々の能力を開発し年功と能力を両面から考えていく。

〔質問〕出かせぎ者の給与所得について(イ)出かせぎ収入は、自主申告するのか。(ロ)申告のないものの所得把握の方法は。(ハ)税の賦課方法を具体例を持って聞かせていただきたい。

〔答〕(イ)額の多少にかかわらず、自主申告が原則。(ロ)申告のないものは、係が種々の方法で家族または本人と連絡をとり、申告もれないようにしている。(ハ)たとえば、七〇万円の出かせぎ収入のある独身者の場合、五〇万円が所得控除され、残り二〇万円が課税対象所得額となり均等割千円が賦課される。またその二十万円から十九万円の基礎控除があり、さらに各種控除が一万円以上あれば、所得割は賦課されないことになる。

〔質問〕町内の農地は他産業等に利用され年々減っているの行政指導を加えられないか。

〔答〕農地の転用は農地法等で規制されているが、私権であるため町の行政指導にも限界がある。

〔質問〕冷害の教訓からも土づくりの大切さがわかる。行政指導で堆肥づくりをすすめるべきではないか。

〔答〕深耕、排水、堆肥の原

点にたつて、堆肥の生産技術、方法や畜産農家とのタイアップを考えなければならぬ。

〔質問〕畜産公害の防止について行政指導が必要でないか。

〔答〕畜産公害対策としては畜産団地が必要となる。道路施設等が今後の課題である。

〔質問〕町内企業に働く人たちの就労対策に、具体的な行政指導が必要でないか。

〔答〕就労者の安定雇用の促進等就労対策については、商工会の指導を待っている。

〔質問〕施政方針の中で町の長期計画にふれているが、具体的な内容を伺いたい。

〔答〕計画の内容及び計画策定の機構は詰めていない。今後議会の皆さんと協議して具体化した。

〔質問〕二次農構で計画された拡大部門だけでは余剰労力を十分に燃焼できないと思う。他の角度から考えた計画はないか。

〔答〕二次農構のねらいは、自立農家の育成である。問題は自立農家以外の農家の対策であり、個々の農家の規模や内容にあわせて指導していきたい。

〔質問〕出かせぎと過疎対策の一環として、工場団地の造成とあわせた工場誘致や地場産業の振興について、将来を展望した考えを伺いたい。

〔答〕県に基幹産業ができるとその波及効果が期待できる。そうしたチャンスに備えて最大の努力をしたい。

〔質問〕小学校の統合と給食の

(六ページへつづく)



（五ページから）

問題は長く議論を重ねてきており、町長の決断を待つばかりと思うが、これをどう考えるか。

〔答〕これまでも話してきたが、今議会後さっそく計画にとかかりたい。

〔質問〕旧玉米中、旧法内小の校舎の老朽の状態はきわめて激

去る三月十日総務常任委員会に付託されました昭和五十二年東由利町一般会計予算並びに昭和五十二年東由利町国民健康保険事業勘定特別会計予算、昭和五十二年東由利町簡易水道特別会計予算、昭和五十二年東由利町玉米財産区特別会計予算の審査の結果を報告申し上げます。

一般会計並びに各特別会計の審査は、総務常任委員会に付託されたものでありますが、内容については他の関係常任委員会との連合審査とし、町当局の説明を求め慎重に審査し、さらに三月十八日議会全員による審査を行ったのであります。

予算全体は、本町の基幹作業である農業基盤の整備、それにまつわる新しい施設整備等に力点が集中され、さらに今後の新しい産業と新しい町づくりのための寄りどころとしての山村開発センター建設等は、本町の将来に大きな期待の持てる予算であると評価するものであります。予算審査は連日熱心に審査しましたが、ことに歳入は予算編成上重要な基本であります。

しい。この管理、処分をどう考えるか。

〔答〕今議会終了後に検討をすすめたい。

〔質問〕林道軽井沢線の改修計画が公表されているが、具体的な内容について伺いたい。

〔答〕同路線の改修については、基幹農道での採択を働きか

極めて堅実に押えた内容であります。ここに昭和五十一年度予算を全体として見ますと、当初十一億一千三百万円でありましたが、終末における総額は十三億三千二百六十四万六千円となっております。これは十九億の上伸であります。

五十二年におきましては、当初十二億八千八百七十六万四千円で事業のほとんどが継続事業で行われ、新規事業も出てお

けている。

〔質問〕五十二年産米の生産調整については、農家の自主判断にまかせる考えはないか。

〔答〕本町の生産調整率は、毎年割り当ての百割をこえており、農家の皆さんには不本意と思うが五十二年度もお願いしなければならぬ。

りますが、今後補正予算によって相当量の仕事が出るものと容易に想像できるわけでありまして、したがって、五十二年一般

会計予算十二億八千八百七十六万四千円は、本町の人口六六〇〇人の一人当りにわたりやすく平均しますと十九万五千円余りのものとなるわけでありまして、これと今後の補正等を予想しますと、かなり濃密な予算になるものと推測するわけでありまして、ご参考までに由利郡

内の各町村の当初予算を人口一人当りで比較してみますと、上記のとおりであります。これを見ましても、本町の予算は町勢発展の積極予算であると受けとめ、当局もまた議会の執行に全力を傾け遂行することを期待し、一層の努力と協力を約束し、五十二年一般

〔質問〕奨励金や加算金目あての転作ではなく、本町に適した水田転作目及び畑作の基幹作目の選定を急ぐべきでないか。

〔答〕流通や価格の面で米に匹敵する作目がなかなかない現状である。奨励金については、一時的なごまかしでなく農家の有利な方向で活用していく。

会計並びに各特別会計は全員一致をもって原案に賛成したことをご報告申し上げます。

次に、審査の過程における意見を若干申し上げますが、ただ一つ気がかりなことは、農村基盤総合整備事業につきましてはきわめて短期間において生まれた新規事業でありますので、この事業につきましては、地元並びに町当局が鋭意努力を払われ

ましたことは熟知しておりますが、願わくばもう一歩努力を払われまして、ほ場整備につきましては夏季施行可能な方向で地元の要望にこたえられるよう意見を申し上げます。

まず、総務委員会からの意見要望等を申し上げます。

一、農業後継者の育成については、農家における嫁不足問題とも関連し、過疎地域である本町にとつてはきわめて重要な政策であらねばなりません。

したがって、産業振興の面では長期並びに集団研修等積極的な予算措置をするとともに、社会教育および結婚等民生に関する問題などを総合した専門的対策が必要であります。

後継者育成条例の制定等を考

〔質問〕生産調整の終わる五十三年度をメドに、本町のような積雪高冷地に適した作目の開発研究をすすめる考えはないか。

〔答〕本町の気象条件、土壌条件に類似した町村との交流を盛んにし、本町に適した作目の開拓をつづけていく。

〔質問〕積雪高冷地帯における農作目を開発、研究するための試験場の分場を、本町に誘致できないか。

〔答〕誘致の可能性については問いあわせるが、本町が秋田県の高冷寒冷地を代表する地域であるか、どうかの判断については疑問である。

## 可決されたその他の議案

▽専決処分 昭和五十一年度東由利町一般会計補正予算

町営運動場の設計内容に変更が生じたことにかかる補正予算九百六十七万七千円。

▽町営運動場新設工事請負契約の変更契約

町営運動場新設工事請負契約の契約金額について、既定契約金額二千二百万円を二千六百九十万円に変更契約するもの。

▽本荘地区ごみ処理組合の解散とこれに伴う財産処分

三月三十一日限りで同組合を解散し、その財産と事務処理を本荘由利広域市町村圏組合が引継ぐことについて。

▽本荘由利広域市町村圏組合規約の一部変更

三月三十一日をもって解散する本荘地区ごみ処理組合の事務および財産を、本荘由利広域市町村圏組合が引継ぐことに伴う規約の一部改正。

▽本荘市由利郡視覚教育協議会規約の一部変更

同協議会の組織市町村中、大内村、東由利村、西目村が町

制を施行したと、協議会事務所所在地を改めることに伴う規約の一部改正。

▽昭和五十一年度東由利町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに一千六十六万二千円を追加したもの。累計で十三億三千二百六十四万六千円。

▽昭和五十一年度東由利町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

保険給付費一千八百二十一万五千円など、歳入歳出それぞれに一千八百五十七万円を追加し、予算総額を二億九千三百九十七万六千円にしたもの。

▽昭和五十一年度東由利町簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれに三十二万七千円を追加し、予算総額を一千八百一十二万二千円にしたもの。

## 昭和五十一年度予算に 対する総務委員長報告

（全文）



慮の上、予算措置されるよう要望します。

二、畜産開発公社の出資金として九十万円を予算化しています。同公社の事業内容等を具体的に調査の上、真の意味での開発につながるよう、すなわち、本町の畜産振興に直接的に結びつくよう、予算の執行にあたっては配慮する必要があります。

三、内水面漁業とくに高瀬川本支流にかかわる漁業振興については、稚魚の放流、禁漁区の拡大、魚道の改良等直接的な対策と並行して河川の清浄化も重要なことです。二百海里問題も決して他山の石ではなく、養殖漁業の振興ともあわせ将来にわたって積極的な施策を要望します。

四、高額療養費の給付は、患者が一時金額を負担し後に還付する方式をとっているようですが、この一時負担は経済力の弱い患者にとって、きわめて困難なことであります。したがって現行法の中で解決し得る何らかの便法を工夫することを要望します。

五、国道一〇七号線の改良については、さらに運動を継続し、早期に実現するよう積極的に推進されることを要望します。

六、消防費の中に水害危険住宅改修事業費補助金として五十万円計上されているが、住民全般にわたって見れば、他にもこれに類するケースがあるものと判断されるので、予算執行にあたっては再調査の上慎重に行うよう要望します。

七、町事業の早期発注と工事代金の支払いについてであります。従来町の財政運用の面からのみ考慮され、とくに工事の発注が遅れ、東北特に本町のような秋季の天候に支配される環境下にある地域においては、指定期日に完工し得ない大きな要因となっております。

なお、工事代金の支払いについてもできるかぎり円滑化を図り、経済力の弱い町内業者の育成と雇用の安定につとめるとともに、良心的工事の施行についてのきびしい指導が必要であります。

次に、教育民生委員会の要望事項を申し上げます。

一、町長の施政方針説明の中で懸案となっている小学校統合と給食問題に取り組み前向きな姿勢が打ち出されたことは、同問題解決への一つの前進であると評価できますが、それに関する予算措置がなされておらず、その方向づけもいぜん白紙の状態であることから、結論を出すまではなおかなりの期間を要することが考えられますので、すみやかに同問題の解決策を具体化するため、当局、議会、教育委員会合同の協議会を設置するよう要望します。

二、昭和五十二年度から本町に派遣社会教育主事が配置されることになったことは、本町社会教育の充実に大きな福音であり今後の活躍に期待のかけられるところであるが、県ではこれと同じように学校教育の指導主事の派遣配置も、市および一部町村に対して行っています。この配置は本町教育振興上プラス面がきわめて大きいと考えられるので、当局において強力にその配置方を県へ要請するよう要望します。

三、国民健康保険税が年々約四十パー程度アップしているが、被保険者の税負担はもはや限度であると考えられます。

保険税アップの最大要因は毎年の医療費の増高にあることが明白なので、乱診、乱療の防止などこれの抑制について、生涯教育、公民館活動、各種社会教育の場を活用するなど、あらゆる機会をとらえてPR活動を展開するよう要望します。

同時に、保健婦活動の一層の充実をはかり、健康づくり運動を全町あげて推進するよう提唱します。

次に、産業経済委員会の要望事項を申し上げます。

一、労働費において、出かせぎだけでなくほかの一般労働者についても、助成措置されるよう要望します。

二、水田総合利用対策において転作の積雪高冷地適性作目の試験栽培を実施することを要望します。

三、産業振興協議会の積極的な活動を要望します。

四、導入牛の希望者の枠を拡大

すること要望します。

五、優良素牛の保留対策の充実を図ってもらいたい。

六、上の台地区は場整備事業の補助率七十五パーを町の責任において確保されるよう要望します。

七、商工業と観光に対する行政姿勢を積極的に推進するよう要望します。

次に、建設委員会の要望事項を申し上げます。

一、昭和五十二年の道路の新設・改良は十路線、橋梁の新設・改良は四橋であります。その用地買収については最善の努力と買収後の事務処理についてはすみやかな進捗を要望します。

二、冬期交通対策費に除雪ブルドーザーの購入が計上されているが、今冬の本町の除雪は好評を博しましたので、機種を選定を十分に検討してもらいたい。

三、災害復旧で、昭和五十年災害の未発注分十六箇所の促進を要望します。

以上申しのべまして、私の報告を終らさせていただきます。

\*\*\*\*\*

### 東由利町公告式条例の一部改正

町内十一箇所の掲示場を一箇所（役場前）にすることに伴う条例の一部改正。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

各種委員などの報酬および費用弁償の額を改正したもので主なもの、教育委員長月額六千五百円を七千二百円に、同委員五千円を五千五百円に。選挙管理委員長月額四千五百円を五千円に、同委員三千五百円を四千円に。農業委員会会長月額五千五百円を六千三百円に、同委員四千円を五千円に。監査委員で知識経験を有するものから選任された者月額五千五百円を六千五百円に、同議会から選任された者四千五百円を五千五百円に。公民館長月額四万五千円を六万五千円に。このほか各種審議委員会の委員の日額や費用弁償の額が改正されたもの。

東由利町職員の旅費に関する条例の一部改正

町職員の公務出張等における日当、宿泊料、旅費などを実情に即した額に改正したもの。

東由利町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

一万円に改正。

東由利町簡易水道事業給水条例の一部改正

特別な場合における水道料金の算定のしかたの一部改正で部落会館等、公益的施設の料金算定に適用するもの。

固定資産評価審査委員会の委員の選任

三月三十一日をもって任期満了となる本町固定資産評価審査委員会の委員一名の選任で長谷山誠一郎氏（下通）を選任。

追加議案―字の区域変更について

細田坂線（蔵上里線接点から国道一〇七号線接点）二百十、塚の越線（蔵上里線接点から国道一〇七号線接点）百、指平線（神岡坂部横渡線から法内字指平）百五十、の三路線を新しく町道に認定したもの。

追加議案―昭和五十一年度東由利町一般会計補正予算

予算の総額の変更せず、歳入予算の款項区分の金額について、一部補正したもの。

走れ青春は  
休ませて  
いただきます。



東田利町報 二五三 昭和五十二年四月一日発行 昭和四十二年七月二十三日第三種郵便許可 発行 秋田県東田利役場 毎月一日・十五日発行 一部20円 印刷 K K本間印刷所

火災は人災 防ぐはあなた  
春の火災予防週間 4月10日～16日

秋田県内の最低賃金

秋田県内の事業場及び労働者に適用される最低賃金は、次のとおり改正されました。すべての事業主は、効力発生の日からこの最低賃金額以上の賃金を支払わなければ労働者を使用することができません。もし違反した場合は、最低賃金法により罰せられますので、必ず守って下さい。

| 最低賃金の件名          | 最低賃金額                                                                                                                                               | 除外賃金 | 効力発生日    |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|
| 食料品製造業           | 1日 2,144円 (週1時間268円) ただし、雇入れ後6箇月未満の者については、1日 2,000円 (週1時間250円)                                                                                      |      | 52・3・28  |
| 卸売業・小売業          | 卸売業 1日 2,300円 (週1時間288円)<br>小売業 1日 2,143円 (週1時間268円)                                                                                                | 精賃手当 | 52・3・28  |
| 機械・金属製品等製造業      | 1日 2,301円 (週1時間288円) ただし、<br>1雇入れ後6箇月未満の者<br>2電気部品の組立て又は加工の業務のうち主に卓上において行う組立、溶接、はんだ付け、取付け又は検査の業務その他これらに準ずる軽易な業務に従事する者については、<br>1日 2,001円 (週1時間251円) | 通勤手当 | 52・3・28  |
| 自動車整備業           | 1日 2,296円 (週1時間287円)                                                                                                                                | 家族手当 | 52・3・28  |
| 販売業              |                                                                                                                                                     |      |          |
| 木材・木製品・家具・装備品製造業 | 1日 2,285円 (週1時間286円) ただし、<br>1家具・装備品製造業の雇入れ後6箇月未満の技能習得中の者<br>2製品や部材の組立て又は整理その他これらに準ずる軽易な業務に従事する者については、<br>1日 2,055円 (週1時間257円)                      |      | 52・3・28  |
| 全国金属鉱業等          | 1日 3,700円 (雇入れ労働者のみ (市内組夫を含む))                                                                                                                      |      | 52・2・11  |
| 秋田県最低賃金          | 1日 1,904円 (週1時間238円)                                                                                                                                |      | 51・12・24 |

- 最低賃金額欄の額は、一般の労働者より労働時間の短い者、即ち、時間給労働者をいいます。
- 本表の除外賃金欄の手当及び次に掲げる賃金は、最低賃金額に算入されません。
  - 即時に支払われる賃金及び1箇月をこえる期間ごとに支払われる賃金。
  - 所定労働時間をこえる時間の労働に対して支払われる賃金 (時間外及び深夜労働手当)
  - 所定労働日以外の日の労働に対して支払われる賃金 (休日労働手当)
- 産業別最低賃金と秋田県最低賃金が競合する場合は、金額の高い方の最低賃金が適用されることになります。
- 精神又は身体の障害により著しく労働能力の低い者、試用期間中の者等で最低賃金の適用が困難な場合は、所轄労働基準監督署長を経由して、秋田労働基準局長に「適用除外許可申請」をして下さい。
- 最低賃金の概要を、常時作業場の見やすい場所に掲示する等の方法で労働者に周知させて下さい。

最低賃金について、不明の点があれば最寄りの労働基準監督署又は秋田労働基準局賃金課 (TEL (0188) 62-6681) におたずね下さい。

秋田労働基準局

町民のひろば



農業委員 投票日は23日

四月三十日で任期満了となる町農業委員の選挙の日程が、三月二十四日に開かれた選挙管理委員会決定されました。  
▼選挙期日 四月二十三日  
▼選挙人名簿の選挙時登録の要件  
(イ)昭和五十二年一月一日現在本町に住所を有する者  
(ロ)昭和五十二年三月三十一日現在で満二十歳以上である者  
(ハ)十以上の農地につき、耕作の業務を営む者  
(ニ)前号の者と同居の親族または配偶者 (但し、耕作に従事する日数が、年間おおむね六十日に達しないと農業委員会が認めた者は除く)  
(ホ)十以上の農地につき、耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員 (但し、耕作に従事する日数が年間おおむね六十日に達しないと農業委員会が認めた者は除く)

善意

蔵小に外ぼうき20本

黒沢の千葉五郎さんは、このほど蔵小学校に外ぼうき二十本を贈り、よろこばれています。

宿小学校に雑巾40枚

舟木部落の皆さんは、このほど宿小学校に雑巾四十枚を贈り、よろこばれています。

玉米小に雑巾160枚

町連合婦人会玉米支部 (小

松ミキ支部長) では、先ごろ玉米小学校に雑巾百六十枚を贈り、よろこばれています。

蔵小に雑巾50枚

高村の伊東万吉さんは、このほど蔵小学校に雑巾五十枚を贈り、よろこばれています。

町社福へ五千元

本荘高校下郷分校JRC (畑山明子会長) では、このほど、社会福祉事業のために役立ててほしい、と町社会福祉協議会へ五千元を届けられました。

町社福へ一万元

横小路の畑山ユキヨさんはこのほど、亡夫の香典返しにかえ一万元を町社会福祉協議会へ届けられました。どうもありがとうございました。

慶弔

2月21日～3月20日



誕生 おめでとう

遠藤 仁 館西 正輝 二男  
高沢 稔 荻沢 健一 二男  
工藤美和子 久保 昭義 二女  
小野 牧 横渡 広志 長女  
加藤 健 板戸 洋三 長男  
小松裕樹 高戸屋 正武 二男  
小松幸子 下通 澄夫 三女

○お悔み申し上げます  
佐藤ウシ 律 沢 76歳  
小松マサ 上 通 81歳  
遠藤直吉 宿 77歳  
大庭シケノ 舟 木 87歳  
畑山未次 横 小路 67歳



# 東由利町報

No.254 昭和52年4月15日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



## 営農メモ

稚苗・中苗の育苗管理の要点  
◎稚苗

出芽—30～32度とし、48時間以内が理想的で、芽の長さは0.8～1.0cmとする。  
緑化—直射日光を避けることが必要です。

温度管理は、昼は23～25度、夜は12度以上が必要です。

硬化—初期は緑化期同様低温に弱いので、夜間の温度管理が大切です。

硬化期の温度管理は、昼は12～23度夜は10度以上が必要です。

灌水は、午前10時ごろまでに終えることが大切です。また、田植え前五日前後から外気温に馴化させ、苗を丈夫にするよう心がけます。

◎中苗（折中育苗・ジャンボ有孔ポリ）

温度管理—1～1.5葉で上ポリの中央部を開き、トンネル内が27度になったら降します。1.5～2葉で上ポリを全部降し、2.5葉ころに下ポリのすそをあけ、3葉以降は巻き上げます。

水管理—播種時、溝に水を張り、1.5葉時は昼は箱の $\frac{1}{2}$ ～箱上まで、夜は箱上2～3cm、三葉以降は、浅水で徒長を抑えます。

（東由利町農業総合指導センター）

No 254

4 / 15





喜びの智恵さんを囲んで左に町長、右に担任の蔵倉先生、後は伊藤校長

また、同二十四日には皇太子殿下ご夫妻をお迎え、ここでも作品説明が行われ、特に美智子妃殿下は智恵

# 智恵さん(宿小)金的を射止める

—全日本学生児童発明くふう展—

手紙で家族との会話、のアイデアに特賞

社団法人日本発明協会など四団体が主催する第三十五回全日本学生児童発明くふう展で、宿小の二年の大庭智恵さんの作品「かぞくおはなしたまてばこ」が、全国の各都道府県の代表作品の中から、小・中・高を通して十二点だけという金的を射止め、栄えある特賞の科学技術庁長官賞を受賞しました。

作品の「かぞくおはなしたまてばこ」は、日常くわしく話し合う時間のない家族同士の会話を手紙でしようとするもので、おとうさんの人形、おかあさんの人形といったふうに家族全員の人形をつくり、台の上に置き口の部分を少しあけ、手紙や伝言を口から入れるようにしたもので、親子間の会話不足が指摘されている現代にピッタリのアイデアです。

三月二十二日、東京日本橋の三越デパート七階に同展の名譽総裁である常陸宮殿下ご夫妻をお迎えして行われた受賞式には、智恵さんとおとうさんの吉勝さん、担任の蔵倉先生が出席し、受賞者の中で最年少の智恵さんの作品説明には、とりわけ大きな拍手がありました。

さんにじきじきに作品の内容についてお訪ねになりました。

蔵倉先生は「同展で特賞を受賞することは、宝くじの一等をあてる以上の至難であり、幼ないのでもまだ実感は薄いでしょうが、本人にとっては一生のよい思い出となることでしょう」と語っていました。

同校では、昨年も同展で特賞受賞者を出しており、二年連続で受賞者が出たことに学校中が喜びに沸いています。

佐々木さん(宿小) も入賞

また、同展では智恵さんのほかに宿小の四年の佐々木真由美さん(作品「磁石式九九練習機」)と、蔵小の六年の太田光

## 表紙の写真

町内の各小学校では、四月一日に入学式を行いました。おとうさんやおかあさんに連れられて登校した新入学児童たちは、ちょっぴり緊張した感じでしたが、それでも自分の名前が呼ばれると元気に返事をし、現役つららしい面ものぞかせていました。写真は老小です。

## 苦労さまでした

### 八島さんと遠藤さんが退職

長年役場の職員として精勤してこられた八島耕二郎さん(元建設課長)と遠藤忠二郎さん(元住民課参事)は、三月三十一日をもって役場を停年退職されました。

八島さんは、昭和二十八年十二月に旧玉米村職員に奉職されて以来二十四年間、一貫して土木・建設課関係の事務、事業に従事してこられ、この間に建設



八島耕二郎さん



遠藤忠二郎さん

お二人とも長い間本当に苦労さまでした。

## 教職員の異動

県教職員の定期異動は三月二十五日に発表され、本町関係では次のとおり異動になりました。(一)内は前任校等、◎印は校長、○印は教頭。

### 小・中学校関係

- 〔転入〕
- 住吉小 ◎堀桂一(石沢小)
  - 阿部清治(袖山小)・新田新子(任用)
  - 玉米小 ◎中嶋仁(金浦小)
  - 齊藤ヒサ(石沢小)・増村トモエ(鶴舞小)・今野敏子(川内小)
  - 袖山小 ◎齊藤九四郎(岩谷小)・須田八郎(西滝沢小)
  - 小松昭作(軽井沢小)
  - 老方小 伊東イネ(松ヶ崎小)
  - 太田敦子(平沢小)
  - 蔵小 今野清作(大竹小)・速水イチ(小友小)・佐藤司郎(鶴舞小)
  - 宿小 作左衛門一(矢島小)
  - 佐藤享(講師)・渡辺一郎(講師)・齊藤孝雄(講師)
  - 東由利中 ◎中山精一(上川大内中)・佐藤淳一(新山小)
  - 佐藤新一(蔵小)・田中洋子(石沢中)・高橋溪林(仁賀保中)
- 〔転出〕
- 辞職 ◎佐々木美一(住吉小)
  - 菊地ケイ(玉米小)
  - 大沢小 下村宏二(住吉小)
  - 若美町弘戸中 ◎田中養吉(玉米小)
- 〔転入〕
- 亀田小 伊藤種秋(玉米小)
  - 新山小 佐々木真澄(玉米小)
  - 打矢弘(宿小)
  - 川内小 ◎佐藤誠一(袖山小)
  - 金浦小 ◎小嶋輝夫(袖山小)
  - 住吉小 阿部清治(袖山小)
  - 院内小 鈴木昭子(老方小)
  - 上浜小 佐々木昭子(老方小)
  - 東由利中 佐藤新一(蔵小)
  - 平沢小 佐々木昭子(蔵小)
  - 佐藤修一(宿小)
  - 北内越小 土田誠一(宿小)
  - 矢島中 菅生寛二(蔵小)
  - 西目中 ◎長田規一(東由利中)
  - 仁賀保中 成田晴三(東由利中)
  - 県教育委員会 畑山昭一(東由利中)
  - 本荘南中 堀江剛弘(東由利中)
  - 山王中 伊藤一代(東由利中)
- 〔本荘高校下郷分校関係〕
- 〔転入〕
- 小松勘一郎(本校定時制) 今野昭次(由利工業高)
  - 佐々木俊夫(角館高) 渡辺義実(増田中)
- 〔転出〕
- 西目農高 小松正徳
  - 湯沢北高 山手正史
  - 湯沢高 小杉和夫
  - 退職 伊藤紀子

交通事故証明  
書交付手数料

五〇〇円に

自動車安全運転センター(特殊法人)が交付している交通事故証明書交付手数料が、四月一日から五〇〇円(旧四〇〇円)になりました。



## 町長年度始めで職員に訓示

## 役場は一つの意識で

昭和五十二年度の年度始めにあたる四月一日、職員人事の異動辞令交付等のもと、町長は全職員を前に次のような訓示を行いました、職員の奮起を促しました。

「国の政治は、国民の生命を守り生活を向上させるためにあります。地方行政はそれを地域的に実践的に処理することであり、役場組織は、その実践体であります。つまり、我々公務員は実践の単位であります。

今日、昭和五十二年度の年度始めにあたって、

- 1、我々個々が公務員たる十分な自覚を持っているか。
- 2、役場という行政組織が良好に運営され、町民の期待にこたえているか。
- 3、管理者は、町政の発展に工

## 菊地三男氏亡くなる

本町（館西）出身で秋田市在住の菊地三男氏は、去る3月17日亡くなりました。享年68歳。



故菊地三男氏

夫と努力をし、充実した気迫を持っていますか。

以上を反省し、長所は伸ばし不足は補い、東由利町発展のために努力することを誓いあいたいと思います。

業務の執行順序は、連絡、協議、計画、実行、確認であり、組織の運営については、管理者の気力あるリーダーシップと職員個々の創意と相互の人間関係の研究が必要であらうと思います。

また、各個人については、知識・技能の習得練磨、人間完成と社会人としての成熟のための努力が要求されますので、このための研修の機会と内容についての検討が必要と考えています。

それぞれ昇格、昇給を致しましたが、職員全員がそれぞれの持ち場において、最善を尽くされることを期待します。

一つ蛇足を加えますが、以上申し上げましたことは堅苦しいことでもあります。しかし、人間社会は堅苦しさだけでは成り立たせません。

今日四月一日に欧米には、エープリルフールという慣習があることはご存知と思いますが、緊張と真剣さの中には機知と諧謔、ウィットとユーモアが必要であり、これは人間関係の安全弁であり、潤滑油であります。

この点を人間的に相互に感じあわなければならぬと思います。

我々は、行政の手段として各課ごとに分野を区分しています。基本的には一つの体勢でありますので、持ち場のセクト主義を廃して常に「東由利町役場は一つなり」という意識を持ち、町民の期待にこたえられることを

氏は、昭和21年2月から4年2か月にわたって老方国民学校長をつとめ、新教育の実施普及やへき地教育、視聴覚教育に尽力されたほか、本荘高校下郷分校の設立にも努力されました。

また、地域の文化活動の指導にも情熱をもち、特に郡市の音楽担当教師を集めて四回にわたって催した「世界音楽の夕べ」は、今でも地域の人たちの記憶の中に生きています。

昭和二十八年から四十年の県教育庁指導主事、昭和三十九年

四月から三か年の秋田市保戸野小学校長・秋田県校長会会長・秋田県音楽教育研究会会長として、県都にあり音楽教育に大きな足跡をのこしました。

昭和三十五年十一月、秋田県教育功労賞、昭和四十五年十一月、東由利村功労賞を受賞。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

なお、同氏には四月五日付で従五位勲五等瑞宝章が叙勲されました。

## 新採用職員



猪股 寿和



石渡 博澄



佐々木 善隆

## 畜産だより

＜季節的な注意＞雪もとけて、冬囲いをしておいた野菜を掘り出してみると、特に大根などは中心に空洞ができていたり（俗に「鬆食った」と言う）していることがありますが、捨てるのはもったいないので家畜に与えましょう。

この場合、しなびないうちに早めに、細切して（大きく切ると、のどづまりをおこす）粗飼料と混ぜて与えます。一度に多く与えるとガスを発生します。

＜サイレージは、春になって暖かくなると変質してくるので、

画財政係長 菅原賢治（総務課企画財政係）▽税務課徴収係長（高橋慶一）（出納室会計係長）▽税務課課長 阿部力（税務課課長）▽住民課住民厚生係長 阿部弘章（産業経済課農業構造改善係長）▽産業経済課農業構造改善係長 中西蔵之助（産業経済課振興係長が兼任）▽出納室出納員 佐藤貢（総務課課長）▽産業経済課振興係兼構造改善係 小松長敬（産業経済課産業係）

## 主任昇格

伊東正志（建設課）・寅田敏雄（住民課）・高橋義勝（総務課）・遠藤信一（産業経済課）・安倍秋雄（産業経済課）

＜教育委員会関係＞

▽教育次長 小松正昭（教委総務係長）▽教育委員会総務係主任 佐藤孝一郎（教委総務係）

## 任用

猪股寿和（総務課）・石渡博澄（産業経済課）・佐々木善隆（産業経済課）

早めに与えましょう。また、カビの生えているところは取り除いて与えないと、中毒症にかかります。

＜消毒した種もみは、食用や飼料にはできません。また、くず米は充分に煮て、少量ずつ与えましょう。

＜草地の手入れを秋に済ませなかった農家は、なるべく早く石灰分の散布をしてください。

＜冬囲いを取り外し春らしくなると、家畜は外に出たがります。この時期は舎外に逃げ出し、濃厚飼料などを盗み食いすることがあります。

## ホームヘルパーに

## 佐藤さん

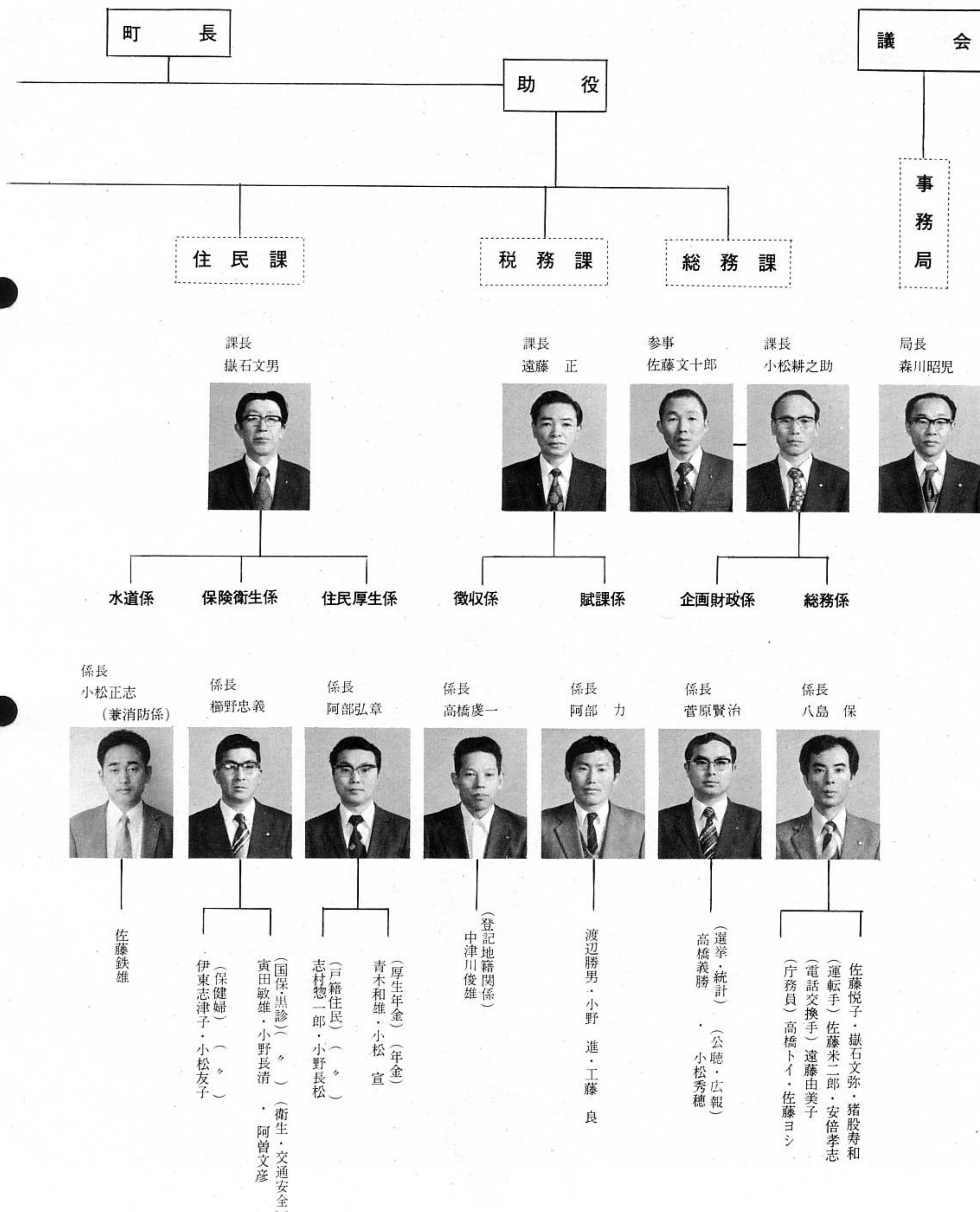
老人家庭奉仕員（ホームヘルパー）として活躍してこられていた小松サダミさん（宮ノ前）は、三月三十一日をもって退職されました。

後任のヘルパーには、下通の佐藤陽子さんが四月一日付で発令されました。今後の活躍が期待されるそうです。



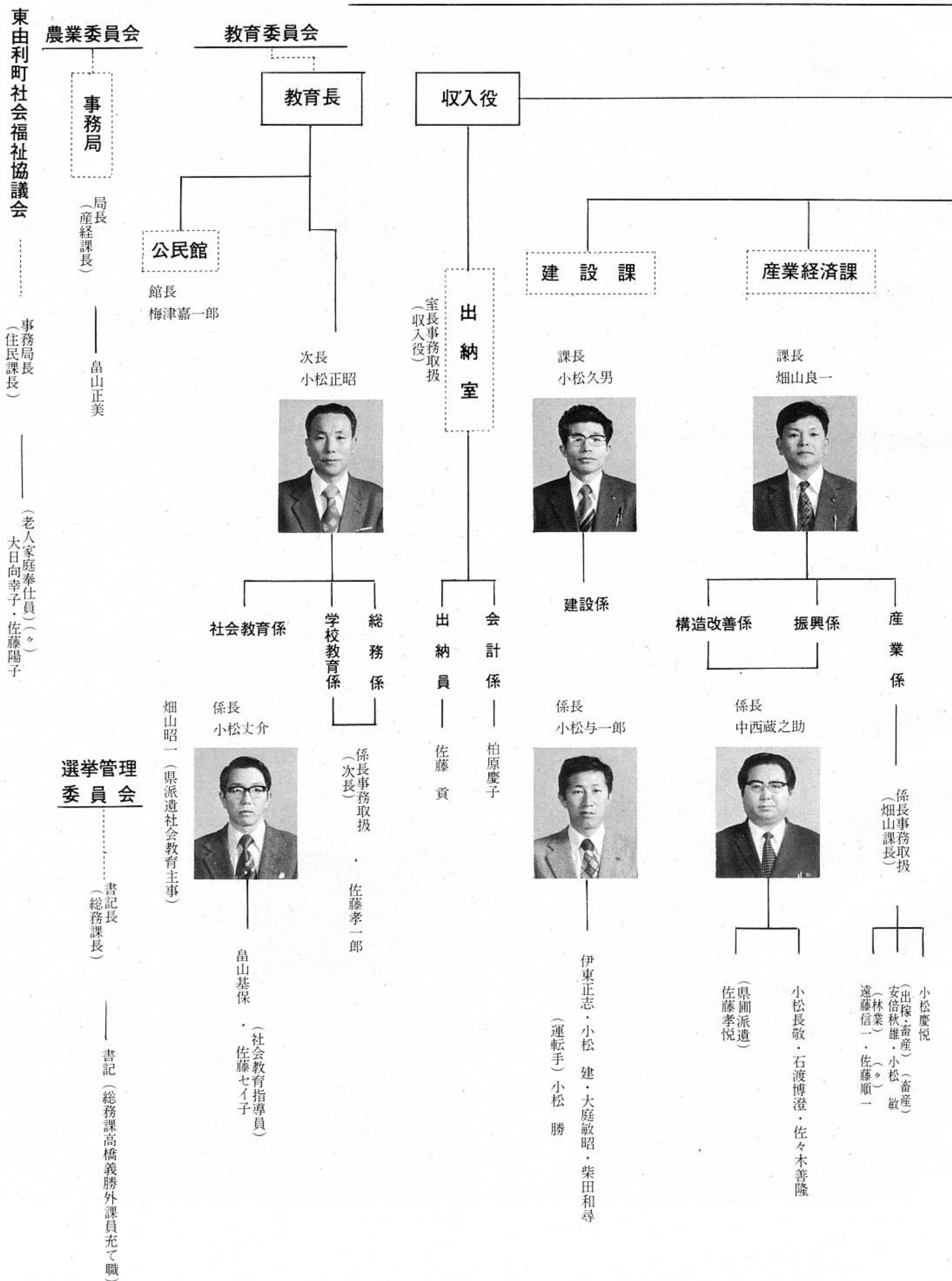
# 職員配置一覽表

(52.4.2)





# 東由利町行政機構





東由利町報 二五四 昭和五十二年四月十五日発行 昭和42年7月21日第三種郵便許可 発行 秋田県東由利役場 毎月一日・十五日発行 一部20円 印刷 K K本間印刷所

## 年金増額 幸せを明日につなぐ国民年金

国民年金のかけ金は52年4月分から  
月 2,200円になりました

(付加年金のかけ金は今までどおり月 400円)

▽ 年金額は、物価にスライドして毎年増額されています。かけ金も年金額に見合った額とするため大幅な引き上げが必要となっています。しかし、みなさんのかけ金が急にふえるため、だんだんに引き上げることになりました。少しでも多い年金をもらい豊かな老後とするためとご理解ください。



## バス時刻表

4月1日改正

| 本 庄 行     |       |       |                 |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-------|
| 横手発       | 黒淵発   | 玉米発   | 老方 <sup>発</sup> | 蔵 発   | 大琴発   | 本庄着   |
|           |       | 6:45  | 6:48            | 6:54  | 7:01  | 7:50  |
|           | 6:55  | 7:10  | 7:13            | 7:19  | 7:26  | 8:15  |
|           | 8:05  | 8:20  | 8:23            | 8:29  | 8:36  | 9:25  |
| 急 7:45    |       | 8:46  | 8:49            | 8:54  | 9:00  | 9:40  |
|           |       | 9:50  | 9:53            | 9:59  | 10:06 | 10:55 |
| 急 10:10   |       | 11:11 | 11:14           | 11:19 | 11:25 | 12:05 |
|           |       | 11:35 | 11:38           | 11:44 | 11:51 | 12:40 |
|           | 13:00 | 13:15 | 13:18           | 13:24 | 13:31 | 14:20 |
| 急 12:40   |       | 13:41 | 13:44           | 13:49 | 13:55 | 14:35 |
|           |       | 15:00 | 15:03           | 15:09 | 15:16 | 16:05 |
| 急 15:30   |       | 16:31 | 16:34           | 16:39 | 16:45 | 17:25 |
| 16:00     |       | 17:10 | 17:13           | (止)   |       |       |
|           | 16:40 | 16:55 | 16:58           | 17:04 | 17:11 | 18:00 |
|           |       | 17:25 | 17:28           | 17:34 | 17:41 | 18:30 |
| 17:20     |       | 18:30 | 18:33           | (止)   |       |       |
| 横手・黒淵 方面行 |       |       |                 |       |       |       |
| 本庄発       | 大琴発   | 蔵 発   | 老方 <sup>発</sup> | 玉米発   | 黒淵着   | 横手着   |
|           |       |       | 7:15            | 7:18  |       | 8:26  |
| 6:40      | 7:29  | 7:36  | 7:42            | 7:45  | 8:00  |       |
| 急 7:30    | 8:10  | 8:16  | 8:21            | 8:24  |       | 9:23  |
| 8:30      | 9:19  | 9:26  | 9:32            | 9:35  |       |       |
| 10:05     | 10:54 | 11:01 | 11:07           | 11:10 |       |       |
| 急 10:25   | 11:05 | 11:11 | 11:16           | 11:19 |       | 12:18 |
| 11:35     | 12:24 | 12:31 | 12:37           | 12:40 | 12:55 |       |
| 急 12:40   | 13:20 | 13:26 | 13:31           | 13:34 |       | 14:33 |
| 13:50     | 14:39 | 14:46 | 14:52           | 14:55 |       |       |
| 15:00     | 15:49 | 15:56 | 16:02           | 16:05 | 16:20 |       |
| 急 15:30   | 16:10 | 16:16 | 16:21           | 16:24 |       | 17:23 |
| 15:55     | 16:44 | 16:51 | 16:57           | 17:00 |       |       |
| 16:30     | 17:19 | 17:26 | 17:32           | 17:35 | 17:50 |       |
|           |       |       | 17:20           | 17:23 |       | 18:31 |
| 17:40     | 18:29 | 18:36 | 18:42           | 18:45 |       |       |

## 町民のひろば



### 町の概要

人口総数 6,538人  
うち男 3,214人  
うち女 3,324人  
世帯数 1,484戸  
面積 148.51km<sup>2</sup>

(52. 4. 1現在)

### 卓球 大会 玉米分館 が優勝

第四回町民卓球大会は、三月二十七日に東由利中学校体育館で開催されました。

当日は各分館の代表選手ら約五十人が参加し、各種目に熱戦をくりひろげました。

種目別の成績は次のとおり。

#### 〔団体戦〕

- 第一位 玉米分館
- 第二位 老方分館
- 第三位 住吉分館

◎男子三十歳未満の部

#### 〔個人戦〕

◎男子三十歳未満の部

第一位 阿部洋子(蔵)

◎女子の部

第一位 小松丈介(横小路)

第二位 小松久隆(宇戸坂)

第三位 小松哲夫(須郷田)

◎同四十歳以上の部

第一位 佐藤 貢(田代)

第二位 佐藤十内(下小屋)

第三位 渡辺勝男(下小路)

◎同三十歳以上四十歳の部

第一位 小松憲司(下小路)

第二位 工藤 良(新処)

第三位 小松義嗣(松柴)

### 鯉のぼり

電線に注意を

今年も鯉のぼりの泳ぐ季節になりましたが、毎年鯉のぼりによる感電事故が発生していますので、次の点に気をつけてください。

☆ 鯉のぼりが、風に流されたり、ポールが倒れても電線に触れないだけの距離を見定め、てからポールをたててください。

☆ もし、電線に近寄ってたてる場合は、もよりの東北電力の事業所に連絡してください。すぐお伺いして危険のないようにお手伝いします。

### 山火事の防止を

▽火入れをする時には、必ず町長の許可を受けましょう

長谷山八吉さん・長谷山武美さん

### 神奈川県知事表彰を受ける

神奈川県と神奈川県建設労働者受入協議会では、永年連続して同県に就労している季節建設労働者の中から、特に勤務成績



喜びのお二人

等の優秀な人を毎年表彰しています。

今年もこの表彰式が三月二十四日神奈川県建設会館で行われ、神奈川県に就労している全国の季節労働者で、建設業関係に従事している人の中から二十名の方が表彰を受けました。

この二十名の中には、本町の長谷山八吉さん(向田 44歳)と長谷山武美さん(地下の沢 47歳)も入っています。

長谷山八吉さん(篠原建設)は十一年、長谷山武美さん(石井建設)は十二年、それぞれ神奈川県に季節就労していたものでした。